

さくら さくら

3月19日に熊谷地方気象台から桜の開花の発表がありました。これは平年よりも10日早いそうです。

今年もたくさんの蕾をつけたトワーム熊谷の桜の木も、可愛いピンクの花を咲かせみんなの心も癒してくれました。桜は早咲きのものや色がこっくりとした濃いピンクのもの、八重咲きのものなど色々な種類の桜がありますが、なんと200以上もの品種があるそうです。

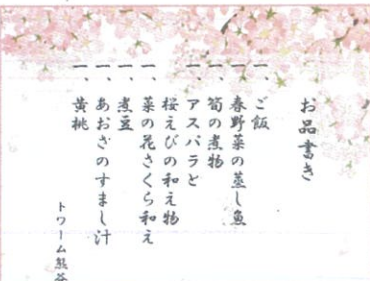
中でも代表的なのは「ソメイヨシノ」ですが、日本の桜の80%を占めていると言われているそう。「パッと咲いてパッと散る」その儂い姿が、皆から愛される理由の一つなのでしょうね。

満開の桜の木の下でお客様達もとっても素敵な笑顔を見せてくれました。来年もたくさんの花を咲かせてくれますように・・・。



トワーム熊谷自慢のお食事紹介コーナー

春の旬を賢沢に詰め込んだメニューのご紹介です。



お祝いごとかな？と皆さんに喜んでいただけました。お品書きを大事に持ち帰る姿も・・・。4月もたくさん行事食を計画していますので、お楽しみに！

給茶機導入！！

お待たせしました！！ついに療養棟にも給茶機が導入されました。なかなかご自身で水分を摂るのは難しくなってきましたので、トワームでは朝昼夕のお食事の時間以外にも、10時とおやつの時間にお茶の時間を設けております。飲み物のレパトリーが増えて、お客様からも大好評です。



- コーヒー
 - 紅茶
 - 緑茶
 - りんごジュース
- 4種類ご用意しております。温度もお客様がやけどしないよう、ぬるめに設定しております。

春爛漫

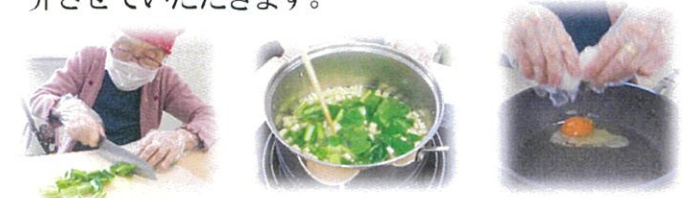
お彼岸を過ぎて寒さもだいぶ和らぎ、お天気が続いた3月下旬。今年も始まりました、事務長代理による「きまぐれドライブ」♪第一陣は、熊谷桜が見頃を迎えている石上寺⇒伊勢町ふれあい公園⇒荒川土手のコース。ドライブのお供はマクドナルドのシェイクです。生まれ育った熊谷の風景を車窓から眺めながら、よく出かけたデパートや病院などのお話で、お客様同士盛り上がりおりました。また「まさか熊谷の街をこんな風楽しめるなんて思ってもいなかった！柵からぼたもちだわ！今夜は興奮して眠れないかも！」と、大喜びされるお客様もあり、大変嬉しくなりました。



春休みに入り、人出もそれなりにあって、荒川の土手を仲良く歩くカップルを見つけては、「若い男女がいる！若いって良いわね～。羨ましい。」なんて話もされ、終始笑いの絶えない楽しいドライブとなりました。次はどこに行きましょうか♪

調理訓練

介護老人保健施設は、病院と自宅との中間的施設であり、在宅復帰を目指して、起き上がりやベッドからの移乗・歩行訓練や階段昇降など、その方に合わせたプログラムを用意し、リハビリを行っていきます。ご自宅に戻る前にはケアマネジャー・リハビリ担当者と一緒に、一度ご自宅に伺って、実際の動き等を確認させていただきます。またご自身で料理をされていたお客様には調理の訓練も行っております。今回はその様子を紹介させていただきます。



目玉焼きとウィンナーを朝ごはんに召し上がっていたとことで、お味噌汁と一緒に作っていただきました。包丁さばきも味付けも完璧で、とっても美味しく出来上がりました。



こうしてリハビリに励まれ、ご自宅に戻られていくお客様をお見送りする時は、こちらもとても嬉しい気持ちになります。これからもお客様の思いに寄り添い、ご自宅に戻るお手伝いをさせていただきたいと思っております。

施設長 矢島の独り言

明治の人々は「天」とか「造化」という言葉を良く用いていました。例を挙げれば以下のような感じです。「天は人の上に人を作らず人の下に人を作らずと云へり」福沢諭吉(1835-1901)。「則天去私」(天に則り私を去る)夏目漱石(1867-1916)。「草花の一枝を枕元に置いて、それを正直に写生していると造化の秘密がだんだん分って来るような気がする」正岡子規(1867 - 1902)。このように天とか造化という言葉に「人知を超えた大いなるもの」を意識していたようです。

ニーチェ(1844 - 1900)は「神は死んだ」と宣言しましたが、それに象徴されるように大いなるものは否定され今やニヒリズム(虚無主義)が蔓延しています。古典物理学が基礎となっている19世紀の科学ではニヒリズムや唯物主義に陥るのはやむを得なかったとは云え、私のような老人には「和魂洋才」などと叫んでいた明治が懐かしく心引かれる思いがします。

最近、NY州立大学教授アーヴィン・ラズロの「生ける宇宙」という本を読み始めました。それには宇宙の万物は、一貫性のある調和した構造を持っていることが最新の科学で明らかになったと書かれています。138億年前に量子真空に宇宙の種ができ、ビッグバンで大宇宙ができました。46億年前に地球ができ、38億年前には最古の生命が誕生して現在の我々に繋がっています。

従来は生命の進化は突然変異と自然淘汰によって起こり、偶然の産物として我々が存在するといわれてきましたが、一貫性のある高度に統合されたシステムがあるから今の私たちがいるというのが現代科学の結論だそうです。大宇宙と私たちの命が一体で相互作用を及ぼしていることが分かったなんてロマンチックで、難解な本ですが読んでいくのが楽しみです。

